

第 33 回（生活支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 28 年 2 月 18 日（木）13：30～15：00

2. 開催場所：社会福祉会館 3 階

3. 参加者（所属のみ）

夢工房、陽だまりの里、八女作業所、蓮の実園、年輪の園、若楠園、ふるさと、ミライプラス、おおぞら、大籠氏、八女市社会福祉協議会、城山学園、八女市、リーベル

4. 実施内容

『今年度の反省と来年度の活動内容』

○事前アンケートをもとに、3 グループに分かれて討議を行う。

○今年度の反省

- ・教育分科会との共同開催：井上貴善氏の母親の講話はとても良かった。
- ・事例検討：勉強になった。関係機関との連携の必要性を感じた。介護保険との併用。家族も勉強されており、スタッフの知識が必要。
- ・障害者差別解消法のチラシ配布：いい機会であったが、法律の周知が必要。
- ・GHのつどいは、好評。毎年楽しみにしている。

○来年度に向けて

①差別解消法の学習会。

- ・各事業所の取り組み状況の話を知りたい。
- ・当事者の話は重要、パネルディスカッションみたいなものを開催してはどうか。
- ・合理的配慮：お金を掛けずに出来ることを。
- ・「まごころステッカー」的なものを作っては？目印になり、当事者が店選びの一つになるのではないか。
- ・「障害者に優しいお店」：行政の取り組みは出来ないか？商工会を通して各店へ認知を図る。

②マイナンバーについての学習会。

- ・まだ、行政も内容がはっきりしない為、時期が早いと意見が出る

③事例検討会。

- ・困難事例の検討。
- ・事例検討の事例概要を返却すると施設で伝達に困るので持ち帰らせて欲しい。専門の担当者の参加も検討してはどうか。

④支援者のスキルアップに繋がる学習会など。重度高齢化に伴う身体介護法について。

- ・小規模の事業所は講師を招いての研修会は出来ない為、リーベルで講師を招いても研修会を開催して欲しい。当事者参加の研修会の開催もあって良いのではないか。

⑤業務の都合で、昼の時間は参加できないスタッフもいるので、夜間の開催も検討して欲しい。

上記の意見を事務局で検討し、来年度の活動内容を決めていく。

主に障害者差別解消法、GH のつどい、事例検討などを行っていく。